

# 平成29年七管の主な出来事

## 北朝鮮籍貨物船浸水沈没(五島)

1月

1月11日、長崎県五島列島福江島南西海域で北朝鮮籍貨物船「CHONG GEN」が浸水し、沈没する事故が発生しました。乗組員26名(北朝鮮人)は、本船のライフボートにて自ら脱出後、当庁へ救助を求めてきたことから巡視船により乗組員全員を救助しました。その後、五島列島福江島西方の領海外において北朝鮮籍のタンカーへ救助者全員を移乗させました。



漂泊状況



水没直前状況

## フィジー籍貨物船浸水座礁事故(若松)

1月

1月11日、福岡県芦屋沖で緊急入域中のフィジー籍貨物船「TONG DA」が荷崩れにより船体が傾斜し、座礁する事故が発生しました。その後波浪等により船体動揺が大きくなったことから乗組員14名の安全確保のため、乗組員全員を若松海上保安部巡視船もくれんにより救助しました。座礁した船体は2月16日、サルベージ会社により北九州市内岸壁へ移動されました。



## スクラップ積載船火災沈没(福岡)

4月

4月24日、博多港内にて貨物船から火災が発生し、福岡海上保安部所属巡視艇及び消防により消火活動を行うも、翌25日沈没し、燃料油等が海上に流出しました。早期に事態を収束するため、機動防除隊の派遣を受け、関係者連絡会議の開催、油防除体制の確立を行い、原因者手配によるサルベージ業者により油抜き作業、船体引揚げ作業が実施され、7月10日に船体は解体地へ曳航されました。



## 来日中国人らによる大量金塊密輸事件

5月

(警備救難部・唐津)

5月31日、七管区は、警察、税関と合同で、佐賀県唐津市の名護屋漁港に金地金206個(約10億円相当・約206キロ)を小型船で運んで陸揚げした日本人5人と中国人3人を関税法違反(無許可輸入)の容疑で逮捕しました。その後の捜査で共犯者2名を同法違反で逮捕しました。日本の金密輸事件では過去最大の押収量となりました。



## 平成29年7月九州北部豪雨災害対応

7月

7月5日昼頃から福岡県及び大分県内陸部を中心として豪雨が続き、同日夕刻九州地方では初めての特別警報(大雨)が発表されました。七管区では、特別警報発表後、「九州北部大雨災害対策本部」を設置し、巡視船艇・航空機等を発動し、捜索、被害調査及び孤立者救助等を実施し、計40名の孤立者を救助しました。

また、航行警報や海の安全情報を発出し、付近航行船舶等へ情報提供を行うとともに、福岡県及び大分県に職員を派遣し連絡調整にあたりました。



## 中国公船の領海内航行

7月

7月15日、対馬海峡の日本領海を中国公船が航行する事案が発生しました。七管区は中国公船に対し、「日本の領海における無害通航に当たらない航行は認められない」との警告を実施し、巡視船などによる警戒監視を行いました。対馬海峡の領海内を中国公船による領海侵入は初めての事です。



海警1304



海警2506

## 平戸沖押船沈没(平戸)

8月

8月22日、第六あおい丸(6名乗り組み)が何らかの原因で浸水、転覆、沈没し、平戸海上保安署巡視艇かいどう等が捜索救助に当たりました。付近で操業中の漁船により、乗組員1名が救助され、巡視船いなさにより乗組員2名を救助しました。その他の乗組員については、当庁他関係機関の捜索によって、3名の方のご遺体を揚収しております。



## 覚醒剤所持でクルーズ船乗客を逮捕(長崎)

8月

8月24日、長崎海上保安部は長崎税関から長崎港に入港中のクルーズ客船の乗客に覚醒剤所持の疑いがある旨の通報を受け、所要の捜査を行ったところ、客室内から覚醒剤(約6グラム)を発見したことからクルーズ客船の中国人乗客を覚醒剤所持の疑いで逮捕しました。



## 大型クルーズ船事故対応訓練(福岡)

9月

9月28日、福岡海上保安部は博多港への入港隻数が増加している大型クルーズ船を使用した大規模訓練を官民関係機関と連携し実施しました。外国クルーズ船との訓練は、全国的にもほとんど実施されなかった例がなく、大都市圏において10の関係機関が参加する大規模な訓練は初めてでした。



## 全国豊かな海づくり大会海上警衛

10月

10月29日に福岡県宗像市で開催された「第37回全国豊かな海づくり大会」に天皇皇后両陛下が御臨席及び10月27日から30日の間に門司・若松・福岡管内の臨海部の行幸啓が行われ、七管区では「第七管区海上保安本部全国豊かな海づくり大会海上警衛本部」を設置し、会場等周辺海域における警衛を実施し、同大会等の成功に寄与しました。



## 4年ぶりに展示総合訓練を実施

11月

11月10日、11日、七管区の巡視船艇・航空機が集結し、日頃の業務や訓練の成果を披露する「第七管区海上保安本部展示総合訓練」を開催しました。巡視船艇等13隻・航空機1機、警察、消防、税関、海上自衛隊が参加し、吊上げ救助訓練や船隊縦列運動訓練、テロ容疑船対応訓練、放水訓練、高速船隊運動訓練を展開しました。また、「第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」及び「灯台絵画コンテスト2017」の受賞者を招待のうえ、初めて合同表彰式を船上で行いイベントを大いに盛り上げました。七管区の大規模な訓練は平成25年以来、4年ぶりです。

